

福知山市告示第105号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項後段の規定に基づき、令和7年10月1日から令和8年3月31日までの期間における病院事業の業務状況を次のとおり公表します。

令和8年6月1日

福知山市長 大橋 一夫

福知山市病院事業業務状況報告書

(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は57,218人（一日平均 314.4人）となり前年度同期に比し 881人（一日平均 4.8人）の増加、外来は119,127人（一日平均 1,009.6人）となり前年度同期に比し1,073人（一日平均 0.5人）の減少となりました。

設備関係につきましては、関節鏡システムや汎用画像診断装置ワークステーションをはじめとした医療機器等の更新のほか、令和8年度完成をめざした新棟建設工事（第1工区）に着手しました。

収支につきましては、入院患者の増加や診療単価の上昇などにより診療収入は前年度同期に比し5.13ポイントの増となりましたが、給与費や薬品費などが増加したことなどにより当期は 960,594,291円の純損失となりました。上半期分の純利益と合わせると年間では 363,192,739円の純損失となりました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 8,848人（一日平均 48.6人）となり前年度同期に比し122人（一日平均 0.7人）の増加、外来は 7,524人（一日平均 63.8人）となり前年度同期に比し156人（一日平均 0.8人）の減少となりました。

設備関係につきましては、散薬分包機やオーディオメーターの更新等を行いました。

収支につきましては、入院患者数の増加や診療単価の上昇などにより診療収入は前年度同期に比し3.97ポイントの増となりましたが、給与費の増加などにより当期は 30,938,105円の純損失となりました。上半期分の純利益と合わせると、年間では 4,952,776円の純利益を計上しました。

この結果、病院事業全体では 358,239,963円の当年度純損失となりました。

2 経理の状況

令和7年度 下半期福知山市病院事業収支計算書

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	8,238,381,519	入院収益、外来収益、他会計負担金、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	1,091,115,719	受取利息、他会計負担金、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	81,019,190	入学金収益、授業料収益、受験手数料収益、他会計負担金、その他看護学校収益
4 訪問看護収益	10,714,563	訪問看護収益
5 特 別 利 益	90,241,569	その他特別利益
合 計	9,511,472,560	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	9,466,985,263	給与費、材料費、経費、減価償却費、資産減耗費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	888,247,871	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	55,518,446	給与費、経費、減価償却費
4 訪問看護費用	23,450,544	給与費、経費
5 特 別 損 失	68,802,832	過年度損益修正損
合 計	10,503,004,956	

(内 訳) 本院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,932,999,219	入院収益、外来収益、他会計負担金、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	977,380,457	受取利息、他会計負担金、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	81,019,190	入学金収益、授業料収益、受験手数料収益、他会計負担金、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	90,241,569	その他特別利益
合 計	9,081,640,435	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	9,044,869,598	給与費、材料費、経費、減価償却費、資産減耗費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	873,587,365	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	55,518,446	給与費、経費、減価償却費
4 特 別 損 失	68,259,317	過年度損益修正損
合 計	10,042,234,726	

(内 訳) 大江分院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	305,382,300	入院収益、外来収益、他会計負担金、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	113,735,262	他会計負担金、補助金、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪 問 看 護 収 益	10,714,563	訪問看護収益
合 計	429,832,125	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	422,115,665	給与費、材料費、経費、減価償却費、資産減耗費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	14,660,506	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪 問 看 護 費 用	23,450,544	給与費、経費
4 特 別 損 失	543,515	過年度損益修正損
合 計	460,770,230	

令和7年度 下半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,758,493,922	1 企業債(固定負債)	5,630,294,326
2 投資その他の資産	1,091,689,773	2 引当金(〃)	1,864,100,117
3 現金預金	2,690,825,502	3 企業債(流動負債)	1,180,123,592
4 未収金	4,234,030,864	4 未払金	1,227,302,011
5 貯蔵品	44,015,918	5 未払費用	7,449,900
6 短期貸付金	2,300,000,000	6 預り金	58,898,918
7 前払金	93,080,000	7 前受金	227,500
8 前払費用	1,088,380	8 引当金(流動負債)	598,807,000
9 その他流動資産	11,500	9 長期前受金	1,297,143,675
10 貸倒引当金(△)	5,203,146	10 自己資本金	5,215,886,092
		11 資本剰余金	7,380,195,999
		12 利益剰余金	1,739,135,979
		13 当期純利益(損失)	△ 991,532,396
合計	25,208,032,713	合計	25,208,032,713

(減価償却累計額 14,615,527,094 円)

(長期前受金収益化累計額 6,626,664,551 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,098,818,068	1 企業債(固定負債)	5,354,357,201
2 投資その他の資産	1,070,976,254	2 引当金(〃)	1,759,553,410
3 現金預金	2,377,359,345	3 企業債(流動負債)	1,130,820,192
4 未収金	3,992,381,636	4 未払金	1,200,217,674
5 貯蔵品	44,015,918	5 未払費用	6,810,575
6 短期貸付金	2,300,000,000	6 預り金	58,714,354
7 前払金	93,080,000	7 前受金	227,500
8 前払費用	1,042,540	8 引当金(流動負債)	553,570,000
9 その他流動資産	11,500	9 長期前受金	1,049,227,335
10 貸倒引当金(△)	5,183,626	10 自己資本金	5,215,886,092
		11 資本剰余金	7,278,156,635
		12 利益剰余金	1,325,554,958
		13 当期純利益(損失)	△ 960,594,291
合計	23,972,501,635	合計	23,972,501,635

(減価償却累計額 14,030,687,727 円)

(長期前受金収益化累計額 5,904,630,808 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	659,675,854	1 企業債(固定負債)	275,937,125
2 投資その他の資産	20,713,519	2 引当金(〃)	104,546,707
3 現金預金	313,466,157	3 企業債(流動負債)	49,303,400
4 未収金	241,649,228	4 未払金	27,084,337
5 前払費用	45,840	5 未払費用	639,325
6 貸倒引当金(△)	19,520	6 預り金	184,564
		7 引当金(流動負債)	45,237,000
		8 長期前受金	247,916,340
		9 自己資本金	0
		10 資本剰余金	102,039,364
		11 利益剰余金	413,581,021
		12 当期純利益(損失)	△ 30,938,105
合計	1,235,531,078	合計	1,235,531,078

(減価償却累計額 584,839,367 円)

(長期前受金収益化累計額 722,033,743 円)

3 企業債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	285,969	0	285,969	0
〃 〃 10 〃	145,582,889	0	20,151,556	125,431,333
機構企業債 〃 14 〃	234,345,322	0	20,620,707	213,724,615
〃 〃 15 〃	169,217,451	0	12,291,138	156,926,313
〃 〃 16 〃	190,288,144	0	11,779,425	178,508,719
〃 〃	129,430,909	0	8,012,174	121,418,735
政府企業債 〃	1,183,514,321	0	53,488,577	1,130,025,744
機構企業債 〃 17 〃	821,179,216	0	44,555,587	776,623,629
政府企業債 〃	1,435,737,271	0	61,149,319	1,374,587,952
機構企業債 〃 18 〃	162,118,327	0	7,754,274	154,364,053
政府企業債 〃	112,024,207	0	4,331,543	107,692,664
〃 〃 29 〃	92,836,060	0	1,863,927	90,972,133
〃 〃 30 〃	152,839,855	0	3,068,661	149,771,194
〃 令2 〃	25,738,851	0	25,738,851	0
銀行等企業債 〃	2,470,869	0	2,470,869	0
政府企業債 〃 3 〃	146,192,300	0	48,723,458	97,468,842
銀行等企業債 〃	24,070,489	0	8,014,075	16,056,414
政府企業債 〃 4 〃	275,787,719	0	55,047,339	220,740,380
〃 〃 5 〃	1,026,354,961	0	145,963,656	880,391,305
銀行等企業債 〃	45,192,771	0	6,419,403	38,773,368
政府企業債 〃	60,900,000	0	0	60,900,000
〃 〃 6 〃	313,300,000	0	0	313,300,000
銀行等企業債 〃	15,400,000	0	0	15,400,000
政府企業債 〃 7 〃	0	181,800,000	0	181,800,000
〃 〃	0	80,300,000	0	80,300,000
本院分 小計	6,764,807,901	262,100,000	541,730,508	6,485,177,393

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	28,978,736	0	3,093,201	25,885,535
機構企業債 〃 15 〃	1,377,351	0	100,044	1,277,307
〃 〃 16 〃	17,979,684	0	1,112,998	16,866,686
〃 〃 26 〃	9,283,561	0	1,021,235	8,262,326
〃 〃	92,286,434	0	8,368,723	83,917,711
政府企業債 〃 27 〃	137,628,786	0	3,191,893	134,436,893
〃 令5 〃	53,852,769	0	7,658,702	46,194,067
〃 〃 7 〃	0	8,400,000	0	8,400,000
大江分院分 小計	341,387,321	8,400,000	24,546,796	325,240,525

合計	7,106,195,222	270,500,000	566,277,304	6,810,417,918
----	---------------	-------------	-------------	---------------

4 令和8年度 予算概要及び経営方針

令和8年度福知山市病院事業会計の予算総額は21,522,000千円で、対前年度比8.4ポイントの増加となりました。収益的支出の内訳は、給与費43.4%、材料費28.3%、経費18.8%、減価償却費4.7%、その他4.8%となっております。資本的支出の内訳は、建設改良費49.1%、企業債償還金50.9%で、建設改良費の主な内容は、医療機器等の購入費、経年劣化による本院無停電電源装置や救命救急棟3階系統の空調機ほか設備の更新、新棟建設事業（第1工区）等となっております。

市民病院は、地域の中核病院として、先進的な医療ニーズに対応できるよう、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。大江分院は、訪問診療や訪問看護等の在宅医療を引き続き推進し、地域に密着した医療の提供に努めてまいります。また、市民病院と連携しながら総合診療専門医の育成施設として魅力ある病院づくりを進めるとともに、安定経営を目指します。